



平成23年5月12日

各位

上場会社名 はるやま商事株式会社
 代表者 代表取締役社長 治山 正史
 (コード番号 7416)
 問合せ先責任者 執行役員 岡部 勝之
 (TEL 086-226-7101)

業績予想の修正及び特別損失計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしますとともに、特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	52,330	1,543	1,719	75	4.61
今回修正予想(B)	50,587	1,646	1,822	△509	△31.30
増減額(B-A)	△1,743	103	103	△584	
増減率(%)	△3.3	6.7	6.0	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	51,099	1,407	1,553	499	30.73

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,918	1,508	1,700	59	3.63
今回修正予想(B)	49,228	1,619	1,828	△482	△29.65
増減額(B-A)	△1,690	111	128	△541	
増減率(%)	△3.3	7.4	7.5	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	49,636	1,443	1,647	48	3.00

修正の理由

1. (連結業績予想の修正及び特別損失の計上について)

売上高につきましては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、営業停止や計画停電による営業時間の短縮などの影響を受けたこと、新規出店が予定通りに出店できなかったことにより、当初計画を下回る見込みとなりました。一方で営業利益及び経常利益につきましては、滞留商品の評価減処理による売上総利益率の低下はあったものの広告宣伝費などの効率化に取り組んだことと不採算店舗の閉鎖による経費改善により、計画を上回る見込みとなりました。大震災により建物、商品などに直接被害を受けた店舗の損失(1億5千万円)を特別損失に計上致しました。さらに、来期からの中期経営計画達成に影響が考えられる不採算店舗について撤退・移転を加速させ、減損損失(5億6千3百万円)及び店舗閉鎖損失引当金(1億8千9百万円)を計上することと致しました。これにより、当期純利益につきましては、当初計画を下回る見込みとなりました。

2. (個別業績予想の修正及び特別損失の計上について)

個別業績予想の修正及び特別損失の計上につきましても、上記理由と同様であります。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。

以上